

## 教 育

## 教育成果の公開 一卒業研究一覽一

本誌は、教育成果を公開する観点から、学部内での教育活動のうち学術研究に深く関連する部分、すなわち、卒業論文にかかわる情報をここに掲載する。なお、本学部では、優秀な学生を表彰し今後の活躍を期するため、平成13年度に学部長賞「優秀卒業論文賞」を設立した。本年度の審査結果も合わせて掲載する。

## 2021年度 本学部卒業研究一覽

## — 国際学科 —

## テ ー マ

- 1 日本に蔓延る「ブラック企業」—優良企業（ホワイト企業）のブラック現象を中心に—
- 2 “Exploring and Understanding Our Common Humanity through the Realities of Surfing that are Unknown in Japan”
- 3 東アジアにおける日本大衆文化の受容とコンテンツ・ツーリズム ～アニメ・マンガを中心に～
- 4 歴史から見る美意識変遷 ～日中韓の美粧を事例として～
- 5 小売業の進化 —インターネット普及による市場拡大の過程—
- 6 Issues and Concerns on Foreign Labor in Japan and the Philippines
- 7 シェアリング・エコノミーが与える社会の影響
- 8 科学技術の進歩と恐竜研究 —仮説から理論へ—
- 9 男と女 —子育てと家事の思考の違い—
- 10 日本のeスポーツが抱える問題と発展の鍵
- 11 日本で韓国舞踊をつたえる・ならう
- 12 アメリカ社会のLGBT 認識変容から日本のLGBT 認識について考える
- 13 世界と日本にビールの比較 ～日本のビールの進化を考える～
- 14 北欧の幸福度はどこから来るのか ～マズローの欲求5段階説とSDGsの観点から見る～
- 15 Implications and revelations about Japanese society through international perspectives on hidden aspects of human trafficking in Japan
- 16 ペットが飼い主に与える心理的影響
- 17 日本の報道から見るアフリカゾウの象牙密猟
- 18 『地球の歩き方』に見るスペインのイメージの移り変わり
- 19 ヴィーガンからみるビジネス ～現代の社会問題から紐解く～
- 20 19世紀末の風景絵画は現代の若者が考える“映え（ばえ）”に反映するのか
- 21 パンデミック中の日本の観光復興の課題
- 22 日本と東アジアの書道文化と教育に関する研究
- 23 エコカーと環境問題
- 24 日韓若者の身体装飾に関するイメージ
- 25 切り裂きジャック事件と『劇場版名探偵コナン ベイカー街の亡霊』の関連性
- 26 ネットロア —現代社会の民間伝承—
- 27 娯楽の魅力とプロパガンダ
- 28 日中のキャッシュレスの比較について
- 29 応援と必勝祈願の効果についてのスポーツ人類学的研究 ～スポーツ神社とアンケート調査の事例から～
- 30 女性声優が少年役を演じる意義 ～女性声優が開拓した声優の領域～

- 31 人はどのようなことに癒されるのか 一視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚刺激の視点からの分析一
- 32 温泉が生み出すインバウンド事情 ～日本と台湾の事例を通して～
- 33 入管法改正案の問題点 一難民認定率を上げるための解決案一
- 34 Corona vaccine shows global economic destruction by poor countries. ～ HUMANITARIAN AND ECONOMIC PERSPECTIVES ON FINANCIAL AID AND CORONAVIRUS SUPPORT TO DEVELOPING COUNTRIES: LESSONS FROM JAPAN'S POST-WAR RECOVERY AND THE WORLD'S BATTLE AGAINST AIDS～
- 35 学校教育における ICT 活用による GIGA スクール構想の実現についての考察
- 36 20年経っても電気自動車は普及しない ～CO<sub>2</sub>策の切り札はEV だけではない～
- 37 持続可能な開発目標への除草剤や農薬の農作物による人体による影響
- 38 ユニクロ誕生の背景と海外進出 ～韓国出店の事例と新ブランドによる市場への参入～
- 39 テーマパークにおいての参与調査からみる光と影 ～名古屋レゴランドジャパンを事例として～
- 40 アメリカ人種差別を乗り越えたメジャーリーグからわかること
- 41 大学生と社会人のスマートフォン利用の比較
- 42 なぜ人は占いに影響されるのか 一占い師へのインタビュー調査による現代の占いと女性の関係に関する考察一
- 43 9.11 陰謀説
- 44 現代の鬼退治『鬼滅の刃』はなぜ社会現象になったのか 一日本の鬼と韓国のトッケビの比較から一
- 45 アパレル廃棄の闇
- 46 日本におけるモータースポーツ復活への道
- 47 「邦ロック」を「邦」たらしめるもの ～社会的立場からの定義付けの試み～
- 48 心地よく感じる音の正体 ～楽器音、自然音を比較して～
- 49 グローバル・マーケティングにおける諸外国の価値観理解 一日系食品・外食企業営業戦略から考える一
- 50 先進国の財政事情 日本・イギリス・アメリカを中心に
- 51 Jリーグのスポーツマネジメントと地域活性化
- 52 近年紅茶が注目されているのはなぜか
- 53 アメリカにおける航空機産業の発展について
- 54 日本酒の歴史と未来
- 55 プラスチックごみ問題の現状とバイオプラスチックの可能性
- 56 e スポーツ事業が発展していく為には
- 57 メディアは若者の活動家の出現とどのような関係があるのか。
- 58 英国産業革命と新しい産業機械
- 59 日本と世界における肉食文化の違い
- 60 化粧品のジェンダーニュートラル化に関する日韓比較 一広告の男性タレント起用中心に一
- 61 男女両方の視点から見た日本におけるジェンダー問題
- 62 伝統と観光業からみる日本のおもてなし文化の展望
- 63 日本におけるヒップホップの流行 ～音楽以外に潜むヒップホップの精神性～
- 64 新型コロナウイルス感染症の流行による身の回りの変化 ～スポーツを中心に～
- 65 パラリンピックの歴史・文化とその背景
- 66 喫茶店文化 一歴史とモーニング文化から考える一
- 67 野球部に所属する大学生のコロナになってからの食事状況と意識の調査研究
- 68 新型コロナウイルスによる日本経済への影響 一不動産業界を中心にして

- 69 昆虫食で解決する貧困問題と環境問題
- 70 ディズニー映画におけるヴィランの印象の変遷 ～ヴィランとプリンセスの関係性を中心に～
- 71 除草作業を楽に 一私の休日のために一
- 72 日韓沐浴文化に関する比較研究
- 73 持続可能な観光再生について 一サステイナブルな地域づくりに必要な視点一
- 74 格闘家はなぜ会見の中で「煽る」のか？
- 75 ペットの家族化
- 76 ニグロリーグの歩み 一その誕生からメジャーリーグへ与えた影響まで一
- 77 世界で通用する英語教育を目指して ～フィンランドとの相違から見る日本の英語教育の在り方～
- 78 地域おこしと犬山サイクリングイベント
- 79 BLM 運動が起こした変化
- 80 ホーチミンの交通渋滞 一公共交通機関がもたらす人口移動の可能性一
- 81 スタジオジブリ作品に表れる異界観に関する民俗学的研究
- 82 ラグビー2019W杯 日本の勝利への奮闘
- 83 日韓アイドルファンのファン心理および消費行動
- 84 野球とマスメディアの歴史と結びつきについて
- 85 アイスランドから学ぶ男女平等社会の実現 一日本のジェンダーギャップ指数120位から脱却のカギを考察する一
- 86 少子化問題における今後の取り組みについて
- 87 新型コロナウイルスの流行で影響を受けた東京オリンピックの奮闘
- 88 いじめと傍観者
- 89 テクノポップの一考察 ～打ち込みの実践から見えたもの～
- 90 世界で誇れる日本のおもてなし ～おもてなしの本質を鑑みる～
- 91 『Back to the future』で描かれた「2015年」と「現実の2015年」
- 92 なぜ日本でピラティスは広まったのか
- 93 日本プロ野球 (NPB) の過去・現在・未来
- 94 物流業界の現状と未来
- 95 岐阜県における地域コンテンツの役割 ～ゆるキャラ「ミナモ」を事例として～
- 96 エコカーの変遷と行方 一電気自動車に変えられる未来のカーライフ社会一
- 97 プレミアリーグとユニフォームカラーの重要性
- 98 オリンピックが我々の社会にもたらすもの 一スポーツ文化、商業主義、東京2020大会一
- 99 日本における女性労働と企業取り組み
- 100 Examining the Importance of Cultural Identity through Japanese and Māori Music and Dance
- 101 パンデミックから見える世界 一黒死病と新型コロナウイルス感染症を巡って一
- 102 アメリカの黒人差別問題の深層 一貧富格差と産獄複合体を中心に考察する一
- 103 外見至上主義の韓国 Web 漫画「외모지상주의 (外見至上主義)」から考える韓国の容姿・外見事情
- 104 LGBT に対する偏見の変容
- 105 日本にはない風水 一日韓の風水地理思想の地域差一
- 106 ペットと育児放棄問題への解決に向けて
- 107 韓国の食文化 一なぜ辛い料理が多いのか一
- 108 鉄道と観光事業の関係性について ～日本の鉄道事業と観光事業～

- 109 『クレヨンしんちゃん』の表現の変化について
- 110 ガソリン車廃止政策の現状と課題
- 111 日本語と中国語の擬音語 ～翻訳からみる日中対照～
- 112 人を魅了する EDM の実態 ～EDM フェスと DJ の存在から～
- 113 ハロウィンの謎
- 114 世界の闘わされる闘犬
- 115 資本主義における格差の解消に向けて
- 116 韓国と日本における SNS 上のフェミニズム運動
- 117 ウィズコロナとゼロコロナーパンデミックと戦いの道
- 118 中国における留守児童教育の諸問題
- 119 日常的世界からみる在日韓国系日本人のアイデンティティに関する文化人類学的分析
- 120 女性の結婚観 ～日本と中国・台湾の比較分析～
- 121 秋田県の脱過疎化に向けてースポーツを活用してー
- 122 日本における映画撮影に対する規制の緩和とその可能性 ～撮影環境の日米比較を通じて～
- 123 アジアにおけるネイル文化について
- 124 esports の発展とそのオリンピック化の可能性 ～日本での esports 発展を見据えて～
- 125 韓流ブームの変遷史
- 126 日本で「外国人」と共に生きるためにはー外国人技能実習生を例にー
- 127 琉球王国の歴史と沖縄独立論
- 128 合法化が進む大麻の真実
- 129 中田敦彦から学ぶ、才能の見つけ方 ～優れるな、異なれ～
- 130 西洋モデルの近代社会におけるイスラームの研究
- 131 スポーツと国籍ー国代表チームの国籍要件緩和の可能性ー
- 132 日韓アイドル史 ～アイドル概念の変化～
- 133 日本を取り巻く貧困問題 若者や子供の貧困について
- 134 移民文化から考える日本多文化共生社会の構築

— 国際関係学科 —

テ — マ

- 135 パンデミックとキャッシュレス社会

— 国際文化学科 —

テ — マ

- 136 無神論と無宗教

## 国際関係学部長賞「優秀卒業論文賞」審査結果 (2021年度)

---

### 2021年度 国際関係学部長賞優秀卒業論文賞選考要領

#### 1. 賞の種類

- (1) 最優秀論文賞：原則として1編
- (2) 優秀論文賞：原則として2編まで
- (3) 国際政治経済部門賞・国際社会文化部門賞(以下、「部門賞」と表記)：選考委員会が授賞対象および授賞数を決定する。

#### 2. 審査委員会、事務局

審査委員会、事務局は下記のメンバーで構成する。

##### (1) 学部審査委員長

学部長

##### (2) 学部審査副委員長

副学部長、学部長補佐

##### (3) 審査委員

国際学科 6名 (「国際政治経済部門」、「国際社会文化部門」各3名)

##### (4) 事務局

学部事務室

#### 3. エントリー

- (1) 教員はゼミ所属学生の卒業論文を推薦できる。ただし、当該学生に卒論の要約(以下、サマリーと表記)をA4用紙1枚(1000字程度)にまとめるよう指導し、事務局に提出させなければならない。
- (2) 学生は指導教員に相談する必要なく、自分の意思で応募できる。ただし、応募に際しては、サマリーをA4用紙1枚(1000字程度)にまとめて、事務局に提出しなければならない。
- (3) 学生はエントリーの際、当該論文の審査を「国際政治経済部門」、「国際社会文化部門」のいずれに委ねるかを選択しなければならない。この選択は、エントリーする学生の学科所属に一切縛られることなく、卒業論文の内容も鑑み、自分の意思により行うことができる。

#### 4. 審査委員会の編成、第一次・第二次審査

- (1) 審査委員は毎年12月の主任会議、教授会の議を経て決定される。
- (2) 事務局は卒業論文提出締め切り後、各部門の審査委員に審査依頼を行う。
- (3) 審査委員が止むを得ない事情により審査に参加できない場合、速やかに学部審査委員長と副委員長に報告し、判断を仰ぐ事とする。以降の措置については三者に一任されるものとする。
- (4) 審査委員は、原則としてエントリーされた全ての自部門学生の審査を担当する。論文を読んだ結果を総合的に判定し、自らが審査したすべての論文に対して順位付けを行い、100点満点で採

- 点(採点基準は(5)の通り)、各論文に対する簡単なコメント(評価すべき点、不足している点など)も書き添えた上で、所定の期日までに事務局に報告する。ただし、審査の公平を期するため、審査委員自身が指導した学生の論文があった場合、いずれの部門での審査であっても、当該論文の審査を学生が所属する学科の審査委員長に委ねるものとする。
- (5) 論文の採点基準は以下の通りとする(一次・二次審査共通)
- 100～90点：「学部を代表する優秀な卒業論文」として相応しいレベル
  - 89～80点：一般的に「優秀な卒業論文」と言いきれれるレベル
  - 79点以下：「優秀な卒業論文」と言えるか疑義が残るレベル
- なお、順位との整合性が担保されている限りにおいて、点数については各審査委員に一任される。
- (6) 順位付けおよび採点については各審査委員の判断が最優先され、審査委員会構成員を含む他者からの干渉を一切受けない事とする。順位付けにあたっては、審査委員自らの研究・教育経験に基づいた主観に基づき、もっとも優れた論文を1位とした後、2位以下の順位付けを行う。順位および点数については、選考委員会における審査の重要な根拠となるため、たとえ僅差であっても、同位・同点にはせず、必ず差異化をはかることとする。
- (7) 各審査委員からの順位付け・採点結果を受け、原則、「各部門における順位の総和の平均値が最も低い論文」を当該部門の最上位の論文とする。しかしながら、(4)ただし書き以降の論文が発生した場合も踏まえ、採点結果の平均値も算出し、部門内最上位確定の判断材料とする。事務局は本作業の際に疑義が生じた場合、速やかに学部審査委員長と副委員長に報告し、本件に関する判断を三者に一任する。
- (8) (7)により確定した各部門の最上位の論文1編を最優秀論文賞の候補、2位以下を優秀論文賞または部門賞の候補とする。以上を一次審査とする。
- (9) 学部審査委員長、副委員長、審査委員の計9名は最優秀論文賞候補2編の論文を読んだ結果を総合的に判定し、いずれを最優秀論文にするべきかの自らの判断を下した後、100点満点で採点(採点基準は(5)の通り)、各論文に対する簡単なコメント(評価すべき点、不足している点など)も書き添えた上で、所定の期日までに事務局に報告する。ただし、審査の公平を期するため、上記9名が指導した学生の論文があった場合は、当該論文の審査を学生が提出した同部門の他の審査委員に委ねるものとする。なお、各審査委員がすでに第一次審査にて審査した論文は必ずしも再度読む必要はなく(コメントも省略)、もう一方の論文を読んだ上で、双方の順位付け(必要に応じて点数の変更)、第二次審査で初めて読んだ論文に対してコメントを行う。
- (10) 各審査委員からの順位付け・採点結果を受け、原則、機械的に「各部門における順位の総和の平均値が最も低い論文」を最優秀論文とする。しかしながら、(9)ただし書き以降の論文が発生した場合は採点結果の平均値も算出し、これも最優秀論文確定のための判断材料とする。事務局は本作業の際に疑義が生じた場合、速やかに学部審査委員長と副委員長に報告し、本件に関する判断を三者に一任する。
- (11) (10)により最優秀論文賞1編が決定され、もう一方の論文は優秀論文賞となる。以上を二次審査とする。

## 5. 選考委員会

審査委員長は二次審査終了後、副委員長、審査委員を招集し、選考委員会を開催する。選考委員会は特段の事情無き限り、2月末に卒業判定審議のために開催される教授会と同日の開催とする。選考委員会にて確認・協議・決定する項目は以下の通り。

- (1) 第一次・第二次審査の経緯確認
- (2) 「最優秀論文賞」と「優秀論文賞」1編の確定：第二次審査の結果確認
- (3) 上記以外の「優秀論文賞」の有無確認と決定：第一次審査において2位以下となった論文の中で、授賞するに相応しい論文があれば、出席者の協議・確認の後、「優秀論文賞」として選出する。授賞するに相応しい論文が無い場合、当年度の優秀論文賞は上記(2)の1編とする。この段階で選出するのは原則1編とするが、第一次審査担当者の意見も踏まえ、審査委員長の判断により、2編以上の選出も可能とする。
- (4) 「部門賞」の決定：(3)において「優秀論文賞」とならなかった論文は、原則すべて「部門賞」の対象となり得るが、最終的には第一次審査担当者の意見も踏まえ、審査委員長の判断により、授賞対象および授賞数を決定する。賞の名称は第一次審査の部門名に準じ、「国際政治経済部門賞」・「国際社会文化部門賞」のいずれかとする。
- (5) 最優秀論文賞、優秀論文賞の講評担当者の決定
- (6) 審査全般に関する講評担当者の決定(部門別・計2名)
- (7) 部門賞の講評担当者の決定：ただし、部門賞の授賞数が多数である場合や、担当者選出が困難な場合は、審査委員長の判断により、部門賞の講評を省略することができる。

## 6. 学部内への報告

審査委員長は審査委員会の決定事項を取りまとめ、3月の教授会(2回開催される場合、進級判定・追加卒業判定審議のために開催される前半の教授会)で報告する。

## 7. 本人への通知・発表

学位記授与式当日、国際関係学部長からの表彰をもって発表とする。なお該当事者が当日欠席の場合でも、受賞の取り消しは行わない。

## 8. 表彰式および講評の公開

- (1) 国際関係学部長から、最優秀論文賞、優秀論文賞、部門賞の順に報告、賞状と記念品の授与を行う。
- (2) 講評の読み上げは、最優秀論文賞、優秀論文賞までとする。ただし、学部長の学位記授与式当日のスケジュールに応じて、省略するか、副学部長または学部長補佐に委任することができる。部門賞については、講評がある場合でも読み上げについては省略する。
- (3) 審査全般に関する講評については、学位記授与式当日の読み上げは行わず、国際関係学部ホームページへの掲載により公開する。

以上

## 2021 年度「優秀卒業論文賞」審査結果

◆候補論文は 8 件。その内訳は、国際政治経済部門は 1 件、国際社会文化部門は 7 件。一次審査の後、学部審査委員長、副委員長も加わる二次審査を経て、2022 年 2 月 28 日の学部審査委員会において、下記のとおり最優秀論文賞 1 件、優秀論文賞 2 件、部門賞 2 件が選考され、教授会において承認された。

◆審査委員会の構成員は以下の通りである。

学部審査委員長：中山 紀子(学部長)

学部審査副委員長：澁谷 鎮明(学部長補佐)

国際政治経済部門審査委員：田中 高、岩間 優希、和田 知久

国際社会文化部門審査委員：伊藤 裕子、黄 強、中野 智章、和田 知久

最優秀論文賞：

「日常的世界からみる在日韓国系日本人のアイデンティティに関する文化人類学的分析」

優秀論文賞：

「スタジオジブリ作品に表れる異界観に関する民俗学的研究」

「秋田県の脱過疎化に向けて ースポーツを活用してー」

部門賞：

＜国際政治経済部門賞＞

「アメリカの黒人差別問題の深層 ー貧富格差と産獄複合体を中心に考察するー」

＜国際社会文化部門賞＞

「19 世紀末の風景絵画は現代の若者が考える“映え（ばえ）”に反映するのか」

(文責：学部事務室 園田 智子)